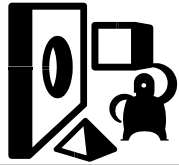


# 特集

## 大学ボランティアセンターの実態に迫る

～大学生のボランティア活動を支援する組織はどんなところ？～



学生のボランティア活動を支援する「大学ボランティアセンター（以下、大学VC）」は、近年、増加しています。「大学」と「ボランティアセンター」という組み合わせは、イメージできそうで、実はなかなか特殊な組み合わせです。本稿では、大学VCについて、また、大学VCと地域との関わりについて、その実態に迫ります。（執筆：特定非営利活動法人ユースビジョン）

### ■学生とボランティア活動の関係は古くから、

#### 大学とボランティア活動の関係は近年急接近

学生とボランティア活動は、大学VCが登場するずっと前から近い関係でした。「大学」とは関係なく学生が自発的に、よりよい社会づくりをめざし活動していた事例は数多くあります。また、学内のボランティアサークルなどに所属したり、音楽系や文化系のサークルがその特技を地域のイベント等で披露したり、スポーツ系のサークルが子どもたちにスポーツを教えるなど、地域に出てサークルの特色を生かして活動している例も多数みられます。

近年は、「大学」とボランティア活動の関係が急接近しています。「ボランティア論」など、授業でボランティア活動を学んだり、活動に触れる機会も増えています。日本学生支援機構の「大学等におけるボランティア活動の推進と環境に関する調査（2008年度）」によれば、全国の320校で、869科目が開講されています。また、同調査によれば、「学生に対するボランティア・NPO情報の提供・相談等を担当する部署」は95%と非常に高いですが、そのほとんどは「部署及び担当者は他の業務との兼務」でした。

今回取り上げる大学VCは、学生のボランティア活動を支援する専門の部署を指し、107か所あります\*（ユースビジョン調べ）。なお、学生の手で設立・運営されている「学生ボランティアセンター」を含めると120を超えますが、本稿では、大学に設置されているVCを中心に述べます。

### ■大学ボランティアセンター誕生の背景

#### ～ボランティア活動が持つ教育力への注目と期待

大学VCが最初に設置されたのは1980年代後半です。ここ数十年の間で徐々に増加してきました。その要因としては、1995年1月に発生した阪神淡路大震災でボランティア活動の重要性が広く認識され、関心をもったり、参加する学生が増加したこと、大学教育においてボランティア活動が持つ教育力が注目されてきたこと等が考えられます。

一方、政策的な動向としては、2002年7月に発表された中央教育審議会答申があります。「青少年の奉仕活動・体験

活動等推進施策について」の中で詳細にわたって大学教育におけるボランティア教育政策について述べられています。具体的には「大学等による学生に対する奨励・支援として正課の教育活動としてボランティア講座やサービスラーニング科目、NPOに関する専門科目等の開設」「学生の自主的な活動を奨励・支援するため、大学VCの開設など学内のサポート体制の充実、セメスター制度やボランティア休学制度など活動を行いやすい環境の整備、学内におけるボランティア活動等の機会の提供」について記されています。

また、2003年度からはじまった文部科学省の事業「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）」や「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」、また、2008年度からの「質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）」等も、大学VC設立に大きく影響しています。ボランティア活動等の社会体験を取り入れた学生参加型教育など、大学VCの取り組みやセンター設立のきっかけとなる取り組みが多数採択されています。

### ■大学VCは、大学の中にある特殊な部署

#### ～全国的な動向

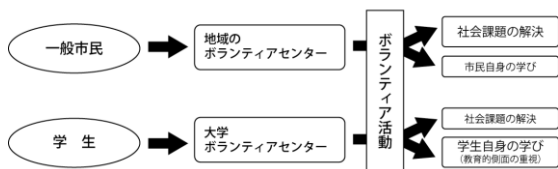
大学VCの設置目的は各大学で異なりますが、多くは、大学の建学理念にそった教育的な意義、大学の地域（社会）貢献などがうたわれています。大学は教育研究機関ですから、学生の学びや成長を育むことを目的に学生のボランティア活動を支援していると考えられます。また、大学も地域社会の一員であることから、社会や地域の課題解決を担う役割も有しているといえるでしょう。

センターの名称は、「ボランティアセンター」のほか、「ボランティア支援センター」「ボランティア活動支援室」「ボランティアコーナー」「ボランティアルーム」「地域交流センター」「社会貢献センター」など、さまざまな名前を掲げています。一方、学生が主体で設立・運営したセンターは、「学生ボランティアセンター」と名乗るところが比較的多いようです。

大学VCという存在は、大学の部署の中でも特殊な部署といえます。開設してまだ歴史が浅いため蓄積が少ないこと、

「ボランティア(活動)」が学内外で様々なとらえ方や理解をされていること、地域との関わりや連携の場面が多いこと等が、従来からある大学の他部署(業務)との大きな違いです。そのため、大学としても、センタースタッフも、模索しながら、努力されているというのが現状です。

教育的観点から見た大学と地域のボランティアセンターの役割の違い



全国社会福祉協議会全国ボランティア活動振興センター発行  
『大学ボランティアセンターガイド』7P、平成17年6月

大学VCの事業内容は、図表1の通りです。地域のボランティアセンターと似ている事業もありますし、大学VCならではの事業もあります。

事業内容の大きな特徴としては「学習支援活動」や「プログラム開発・運営活動」があげられます。大学の教育活動の一環として位置づけられているプログラムも多いです。活動を通して、社会にある課題に気づき・発見すること、自ら考え、行動することなど、主体的な学びにつながるような組み立てが求められます。加えて、地域との協力・連携の場面も多く、地域へのまなざしも必要です。

その他、学生を対象にするセンターとして、情報収集提供活動にも特徴があります。学生を送り出す機関として、リスクのある活動やトラブルに巻き込まれる可能性のある活動を紹介することがないよう、情報の選定を慎重に行っています。また、情報発信に関しては、ボランティア活動初心者や活動経験がない学生にも伝わるよう「ボランティア活動」の魅力をPRすることや、ボランティア活動に関する不安や疑問に答える発信も大きな仕事です。さらに、メールマガジンやブログ、学内メディアの活用など、学生になじみのあるツールを駆使しています。

アドバイザー活動では、ボランティア活動に関連する相談だけでなく、学生生活や人間関係の悩み、果ては人生相談のようなものまで応じることも多々あります。スタッフにはボランティア活動の知識だけではなく、対人援助などの専門的な知識や視点が求められているといえるでしょう。

マッチング活動では、さまざまな思いや期待・不安を抱えた活動希望学生と学生の応援がほしいと願う依頼側との間に立ってよりよい出会いになるようにコーディネーションしています。

(1)情報収集提供活動	ボランティア募集情報や活動の成果を高めるための学習情報などを多様なツールを活用して提供する。
(2)アドバイザー活動	ボランティア活動希望者やボランティア依頼者への相談・助言を行う。
(3)マッチング活動	ボランティア活動を希望する学生のニーズと依頼者のニーズを的確に把握し、よりよい需給調整によって学生の力を社会に還元させる。
(4)学習支援活動	ボランティア活動をはじめするために必要な基礎的講座、活動を高めるための技術や組織運営のためのマネージメント・トレーニングなどを企画し提供する。
(5)プログラム開発・運営活動	ボランティア活動を組み込んだ実践活動プログラムを開発し、体験を通じた学びを提供する。
(6)資源提供活動	学生のために利用しやすい拠点や備品、機材、助成金などを提供する。
(7)調査研究活動	学生のボランティア活動の実態や社会のニーズなどを調査し、その動向を分析して、事業に活用したり、社会に提言する。
(8)広報・認知度アップ活動	多様なツールを活用して、ボランティアセンターの存在や事業内容を伝える。
(9)ネットワーキング活動	活動領域を同じくする学生や団体、地域の団体、他大学の団体等との交流、相互学習・協力を促進し、その成果を個々の学生の活動の発展に寄与する。
(10)その他	センターの事業運営に関わる学生スタッフの育成・サポート、障がい学生をサポートするボランティアの育成とマッチング
興梠寛(2001)の表「ボランティアセンターの活動内容」『大学とボランティア』財団法人内外学生センター(p129)を参考に筆者らが加筆修正	

## ■大学VCの運営形態～多種多様なスタッフ体制

大学VCの事業執行や予算管理等の事務運営に携わっているスタッフ体制(職種や人数)は、大学によって実に多様で、一口で言い表すことはできません。ここでは、スタッフ体制を、ユースビジョンが行った調査から、3つの点から概観します。

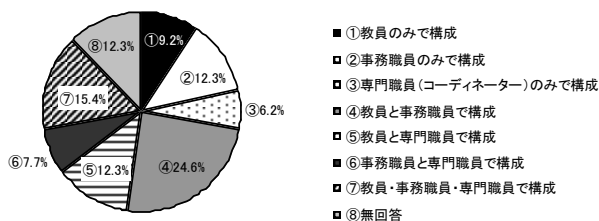
まず、1つめはスタッフの職種です。教員、事務職員、専門職員(コーディネーター)と3種類にわけられます。また、職種ごとに雇用形態に特徴があります。教員では正規雇用で、VC業務は兼任で関わっている人が約7割を占めます。事務職員は、大学の正職員でVC業務には兼任で関わっている人が4割でした。これらの人は、部署の異動によってVC担当になる人もいます。専門職員(コーディネーター)は、半数が嘱託契約の職員で専任という位置づけであり、3年(5年)で専門職員が交代するという現象が起っています。

2つめはスタッフの構成です。教員のみ、事務職員のみ、専門職員のみでの運営は各1割程度であり、最も多いのが教員と専門職員のVC(約25%)、教員・事務職員・専門職員のVC(15%)でした(グラフ参照)。

3つめはスタッフの人数です。上記の3つの職種を合わせて、最少人数が1人、最大人数が11人、平均は3.5人でした。スタッフの人数には大きな差があります。それに伴いVCの事業内容も異なっているのが現状です。

スタッフ以外に学生がセンターの運営に関わっていることもあります。学生が主となり運営している学生VCでは、組織の意思決定、日常のコーディネーションその他すべてを学生たちで担っています。教職員がアドバイザーとして見守っているところもあります。また、スタッフが置かれている大学VCでは、「学生スタッフ」という位置づけでスタッフとは違う立場から学生ならではの活動を展開しています。

\*全国における大学VC実態調査: 全国 1153 の大学・短大を対象にボランティアセンターの設置状況や活動内容、運営体制の実態を調査。2008 年度に実施。



## ■大学VCと地域との関わり

### ～共に、学生の学びと地域の課題解決を担う

大学VCは、「ボランティア活動」を扱う機関であることから、地域との関わりや連携は欠かせません。では、どんな関わりをしているのでしょうか。

地域との関わり・連携事例でまず多いのは、中間支援組織(VC等)との関わりです。中間支援組織で取り扱うボランティア情報を大学VCが活用したり、大学VCに寄せられるボランティア情報の真偽や詳細について中間支援組織に問い合わせたりというのは日常的に行われています。

さらに、その関係が一步進むと、互いの事業に企画委員や講師・ゲスト等で協力し合うケース、ボランティア説明会やボランティアフェスティバル等といったボランティア活動を啓発・発信する事業の共同企画を行うケースも見られます。また、大学内にVCが設置されていない場合でも、地域のVCのコーディネーターが大学に出張してボランティア相談窓口を設けるケースも過去にはありました。VCの立ち上げ準備段階から地域の中間支援組織と大学が手を組んでセンターを設立するというケースも出始めています。

次に、学生ボランティアを受け入れる社会福祉施設やNPO・NGOとの関わりを見ていきます。はじめは「ボランティア

募集」の依頼が大学VCに届くところからのスタートがほとんどです。その後、ボランティア募集チラシを置き学生を送り出すだけ、という関係から、学生が力を発揮できる「ボランティアプログラム」としてプログラム開発や実施を共同で行う関係に進むケースがみられます。中には、専門性を持った教職員がアドバイザー等に入るなど、大学が持つ資源を生かしてプログラムを実践しているセンターもあります。

これらプログラム開発の際には、「学生の成長」はもちろん、学生たちの力を生かすことによる「地域の活性化」や「地域の課題解決」を、双方が意識することが求められます。10年ほど前には、授業の一環で学生に学外のボランティア活動を課し、学生が長期休暇前に社会福祉施設やNPOに殺到して、受け入れ側が混乱したり、辞めた事例も多く見られました。そうならないよう大学VCのスタッフと受け入れ側のコーディネーターが目的を共有し行うことが大切です。

町内会・自治会(地縁団体)や行政との関わりは、当該地域の一員として大学VCが参加しているケースです。町内会や自治会が実施する清掃活動等へ参加、地元のお祭りやイベント等に企画委員や当日のスタッフとして参加したり等です。大学周辺の地域に住み、通学する学生たちと住民との関係づくりを進める役割が大学VCに求められています。

### ■よりよい連携を通して、学生を育て地域を耕す

今回、大学VCと地域の間について簡単に紹介しましたが、全国にはたくさんの例があります。また、スタッフ体制やセンターとしての重点事業や優先順位等の理由で今回紹介したものを実施していない大学VCもあるでしょう。

これまで見てきた通り、大学VCは、名称も、目的も、事業内容もスタッフ体制も実にさまざまです。大学VCのスタッフや関係者により現在進行形で生み出され創り上げられています。上記で紹介した以外の連携や協働事例も今後、どんどんと生み出されていくことでしょう。ぜひ、情報を私たちに

お寄せください。  
大学VCと連携してみたい、何か一緒にできないだろうか、と考える方は、まず、お近くの大学VCへ足を運ばれることをおすすめします。互いを知り合うところからスタートされては

いかがでしょうか。  
大学VCと地域の連携により「学生の学びと成長」と「地域(社会)の課題解決」が実践される数々のプログラムが生み出されることを期待し、私たちが微力ながらお手伝いしていきたいと思

※大学VC情報Web <http://daigaku-vc.info/>